

京都府乙訓郡上植野村総代日誌（三）

安 國 陽 子  
玉 城 玲 子

本稿は、京都府向日市内の旧大字の一つである上植野<sup>（おきまの）</sup>地区で作成され伝来した上植野区有文書の「日誌」のうち、一八八六年（明治一九）一〇月一六日から一八八九年（明治二二）一二月末までを「上植野村総代日誌」として翻刻するものである。

『社会科学』第五一巻第四号に掲載の（一）、同第五二巻第一・二号に掲載の（二）に続き、今回の（三）は、明治二二年四月一日から同年九月三〇日までの翻刻である。

資料の概要および翻刻の経緯については、（二）に掲載の解題を参照していただきたい。

凡 例

一、表記は原則として次のように統一した。

- (1) 原文に適宜読点、並列点を付した。
- (2) 使用字体は常用漢字とし、異体字・俗字・略字や明白な誤字などはそれぞれの正字に改めた。ただし地名や人名に関

するものはそのままにしたものもある。

- (3) 変体仮名や合字は現行の字体に改めた。
- (4) 判読不能の文字は、字数の明らかなものは字数分を□で示し、字数の不明のものは「」で示した。
- (5) 抹消部分は省略し、訂正がある箇所は訂正後の文字のみを記した。
- (6) 原本で日付の左脇に入っている頭注的な記載は、（欄外）とし「」中に記載した。

一、内容や形態を理解するため、次のように適宜注記を付した。

- (1) 誤字・脱字・宛字などについて、適宜（ ）で傍注した。ただし同じ誤字・宛字が繰り返される場合は、傍注は初出のみにとどめた。
- (2) 意味が通じにくいが原本のままとしたものは（ママ）、原

本の文字に疑問がある場合は(カ)、衍字と思われる場合には(衍)と傍注した。

(3) 本文以外の箇所や挿入された部分は「」でくくり、(表紙)、(挿入)などと傍注した。

(4) 人名・寺社名や地名などは、同一のものに幾通りかの表記がみられるが(植田と上田、法華寺と法花寺、物集女と物集など)、そのままとし、傍注は付していない。

一、今回の分の翻刻にかかわった氏名は以下の通りである。な

お、翻刻文の校正には辻真澄氏の協力を得た。

梅本香織 木本陽子 重岡伸泰 高久嶺之介 玉城玲子

辻真澄 西村卓 長谷川澄夫 向井直子 安國陽子

山崎達雄 (五十音順)

(明治二十一年)

四月一日 日曜 休日

四月二日 天気 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、戸別帳反別地価計算スルコト、第一時頃ヨリ各伍長明日村中休日コト触ル、及石原村角力手拭各戸送入無之候哉ヲ問合ス事、次ニ神武天皇祭ニ付供料三拾銭差出スコト

三日 神武天皇大祭ニ付村中一統休日

但シ惣代兩名モ休日、同夜突井戸係り各々集會相催シ小使ニ触レ遣セ候処、三名余留主中ニ有之ニ付、治定被致候ニ付、同夜棒ト女棒破損ニ付訂正ニ凡金三円二十銭計ノ積リニ付、内金壹円ヲ才造ニ持シテ伏見エ該棒ト訂正ニ該人行候コト

四日 朝七時ヨリ惣代兩名出席シ、興行手拭ヲ取認<sup>(續カ)</sup>メ該興行元え手拭数十五筋代封金式拾銭ヲ以テ返却ニ遣シ候事

同時小野新五郎中小車破損ニ付御印押替願書依頼来リ、認メ差遣シ候コト、同時棒ト二番棒新設ヲ云々協議シ、出席方民秋・和田・小嶋政・惣代兩名共協決新設スルコトニ決ス、同九時ヨリ民秋・清水・才造ト三名京都エ該棒ト買求メニ行候コト

五日 天気 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤スルコト、佐々木寅吉鉄道局へ履歴書永井伊右衛門・角上明道・伊藤米吉右四名ノ者ニ保証人ニ付差出スコト、次ニ長法寺村小林幸右衛門事務所罷出、八木うの依頼ニ付当村野口常次郎件住意依頼シテ帰宅ス、次ニ伏見鍛冶屋棒事ニ付持行コト、小野利右衛門上納徴取ノコト、次ニ藤田浅七弟治三郎、野口四郎兵衛より離縁ニ付補充異動届三通差出スコト、又次ニ野口四郎兵衛より該人係ル三通差出候

(四) 五月六日 雨天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤、藤田重郎兵衛依頼ニテ伏見鍛冶屋迄棒二番乃至四番ともツギ及女木調整代価ヲ以テ伏見迄行コト依頼、次ニ民秋徳兵衛より金貳拾五円返却ノコト、次ニ過日来ヨリ六ヶ筒取橋梁修繕ス、経費山石割石とも夫々買求メ代価払コト、又次ニ永井治郎右衛門・林田亀次郎大石落札ノ代価金貳円五拾銭會計方預ケ置コト

(四) 五月七日 天気 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤シテ、字前川井戸再度新設棒ニテ突クコト、次ニ藤田重郎兵衛伏見鍛冶屋帰宅ニテ金九円九拾銭払候、午前第十二時退コト

八日 晴天 日曜ニテ事務休日ス 同日午前九時ヨリ宮惣代六

人部宅ニテ集会候処、永井九郎左衛門出席被下、神祭ニ係ル一件會議ノ事ハ前年ト同様ノコト、聊モ取替リ之義ハ鳳輦共八十戸ニ一名ノ割ニ候コト、就テハ掃除料之義は金三十五円ヲ向三ヶ年間出金スルコトニ会決ス、午後六時頃ニ退席スルトノコト

九日 晴天ニテ 兩名出席仕、朝天ヨリ永井九郎左衛門出頭有之、該郷中集会決議之咄シニ付出席有之、当日他所地価ノ分橋ノ修繕費ヲ取纏メ仕候コト、次ニ同日二時頃ヨリ戸長役場より布告廻達相成候、第七回式袋とも鶏冠井村え送ノコト、同日晩当村八座壺老集會シ、本年禱日限取極メスルコト、先本去年準シ廿四日決議シテ帰宅スルコト、但シ出席人員左記ス、出席人員六員也

南軒法論座(輪)笹与兵衛欠、大麻(政)所座嶋田佐介欠、天野川一老森山宗兵衛、軒法論座代理シ森富吉、真座永井九郎左衛門、小興丁座小林平兵衛、大興丁座植田九郎兵衛、鶏冠井座藤田吉郎右衛門

四月十日 雨天少降 午前第八時頃抛リ当村事務所出席シ、使佐々木次三郎昨日橋梁修繕費不足者え取纏メ行事

同九時頃ニ向日町片山助次郎出頭有之、向神社祭天ニ係ル鳳輦ノ諸機械ヲ調査ニ来リ候ニ付、当村永井九郎左衛門モ出席ニテ

取調被致候ヲ午十二時退席有之候、就テハ当村井ノ上勘右衛門出頭有之候テ口伸之儀は、前夜当村若者九名ヨリ依頼受居候処、祭日前之通り馬乗ヲ仕度候ニ付、村方ニテ羅馬ヲ買求之義依頼来リ候ニ付、午後ヨリ小嶋政・永井・民秋出席被下、小の氏欠席ニ有之候得共、右件ヲ協議致候処、前之通りニ買求メ可致様トニ決定仕候コト、随テ午後四時ヨリ該井ノ上勘右衛門ヲ招キ、右決定之義ヲ口伸致置候コト

同四時二前日当日ト橋修繕費ヲ取纏メノ該金額六円貳拾七錢壹厘五毛ヲ會計永井氏へ預込仕候コト

四月十一日 午前第十時頃ヨリ雲晴 午前第八時頃ヨリ出勤、諸事務取掛ルコト

十二日 午前七時ヨリ惣代兩名出席シ、墓所現地戸数割之割方ヲ致スニ付、中小路熊次郎・高橋常吉兩人ヲ雇入、惣代割方案内致居候、就テ安井与左衛門前日午後五時頃墓所掃除料ノ米ヲ借用被下ト申来リニ付、前諸係リ等差引シテ玄米壹斗五升貸申候、右貸分ニテ四月モ相済ノ勘定ニ候、当日朝早ヨリ該地ヲ掃除ニおよし致し居コト、其後帰り掛ケニ突井戸ヲ一覽ニ行候テ帰り候コト、次ニ突井戸水無シテヤメルコト、午后一時頃也、次ニ午后二時頃ヨリ地方税・營業稅切符送付相成候、各組長え

配達スルコト、次ニ午後四時頃ヨリ馬場村惣代山本弥右衛門当村事務所罷越、井戸突機械借用義ニ付依頼参リ、当村惣代下書渡ス、本書差入ノコト

(四) 五月十三日 天気 午前第八時頃ヨリ民秋徳兵衛より金貳拾円正ニ返却ニ相成候、正ニ受取候、次ニ同九時頃ヨリ馬場村岩崎房吉機械借用証々持参ニテ事務所迄持参ノコト、惣代墓所戸別割見行コト、次ニ養水ニ係ル該費払方スルコト、蒲団・杭繩竹及人足・晒土・酒肴樽広及雜悉皆払ウコト、次ニ同日午后武市才藏皆金五円六拾五錢、外ニ五拾錢伏見棒ト取質ニテ渡ス、都合六円拾五錢長谷川彦兵衛・伊藤乙吉・武市才藏ニテ渡スコト

(四) 五月十四日 天気 午前第八時頃ヨリ惣代式名墓所出テ戸別割図面及番号入レルコト、小野五郎右衛門營業稅及車稅取纏メスルコト、次ニ前田郁太郎登記証々及地券手数料受取切符前田渡スコト

(四) 五月十五日 日曜 午前第八時頃ヨリ六人部是暉より井戸換ニ付世話係リ一応御談申入候処、御苦勞様相成候とも出頭被下度候ニ付、清水・永井九郎左衛門代理罷出、片山助次郎立合ノ上手伝サラエルコトニ決義シテ帰宅ス、次ニ事務所墓所戸割ニ付

旧碑石有場所戸分取ル、各戸ヲ寄テ其事委ク御咄シス、承諾スルコト、午后早々ヨリ各組長先般軍待係リ<sup>(マ)</sup>壱戸ニ付五錢持参ニテ出席シ、終テ水神祭執行スルコト

五月十六日 雨天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤、戸長役場相談スルニ付出勤ス、藤田藤輔弟藤田治三郎係ル祖父祖母取調戸長役場差出スコト、次ニ墓所割方ニ付抽籤調整スルコト、次ニ小野五郎兵衛死亡ニ付認可除籍差出候也、次ニ安井武右衛門事務所罷走<sup>(越)</sup>、向日町片山助治郎御塔道地所買求ニ付、実地反別地価取調被下度依頼罷越し候、反別地価取調テ渡スコト、次ニ午后三時頃ヨリ小嶋氏は戸長役場より事務所帰、其件々、昨歳分署新築ニ付夫々有志致置候続キ、向日町部内ニ於テ土夫人式百有志トシ戸長より依頼相成候、其賦課人は当村十八日出ニテ廿五人、廿日出ニテ廿人都合四拾五人、外ニ女式人ニテ出ルコト、其賦課は地価千円以下ニテ下迄ノ間ニ四拾五人調整シテ出スニ各組長協義ノ上決議ス、次ニ昨年来ヨリ差出有之地券五十通計下付相成候、正ニ受取候、但シ分署人足は本日中午差出シノコト、午后六時三拾分ヨリ惣代兩名京都行スルコト

四月十七日 天気ニテ午后四時頃ヨリ雲天ニ相成候  
午前は惣代在京ニテ小使壱名也、午后壱時京都より帰宅シテ諸

事ニ係ル事務ニ取掛ルコト、次ニ午后三時頃ヨリ小野五郎兵衛法名取調テ事務所え持参ノコト

四月十八日 天気 午前第八時頃ヨリ向日町分署人足式拾四人外ニ女人差出、次ニ中小路甚左衛門倅鶴ノ助係ル祖母取調ト戸長役場差シ<sup>(由脱)</sup>、次京都府より小学校費金百分壱積立賞与トシ下付相成候、其請書認メスルコトニ凡四拾枚計ニテ、次ニ明日墓所地戸別割抽籤スルニ付各組え触ル事

四月十九日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シ、村内各戸墓所戸別割抽籤スルコト、右係リ員左ニ記ス

湯川伊之介 植田九郎兵衛 藤田吉郎右衛門 〆三名也  
次ニ惣代式名は小学校費金受取書認メ、地券下附帳簿写スコト

二十日 晴天 惣代午前七時ニ出席シ、早七時四拾分ニ向日町警察署建築現地土持有志人計式拾壱名出頭被致候、就テハ村内越替<sup>(越)</sup>リ地券状計五十八通各人え渡シ方ヲ仕、随テハ明治十八年より小学校え積立致有金為小学資出債之各々え奇特ノ証票ヲ相渡シ候コトヲ

午後十二時ヨリ各伍長ヲ招キ依頼候ニハ、向日町高等生徒<sup>(小説)</sup>ニ係ル經費乙訓郡中ノ戸数割ヲ以テ壱戸ニ付壱錢六厘ツ、其組取纏

メ、及戸長役場及郡役所へ諸願之義は午前八時ヨリ午後十一時迄ニ各人出頭スルコト、且又明廿一日村中休日コト、右三件ヲ告コトヲ口伸ス

二十一日 村中休日 兩名出席、該日神輿金子寄セニ付民秋・小の・小じま・永井出席被下取纏メ、之ニ付中飯事務所ニテ一飯ス、就テ勘定決は右利子元金ノ内式拾五円村方養水ノ分借用ス、且式十壹円余は馬買及神祭費ニ補助被下候、夕飯は鳥好ニテ一飯スルコト

二十二日 日曜 宮惣代管理被致テ旅所掃除ヲ中小路熊五郎・高橋常吉ヲ雇入、掃除致し被居候コト

二十三日 午前七時ヨリ惣代兩名出勤シ、墓所訂正シ、午後ヨリ組伍長ヨリ高等学校ノ戸数割壹戸ニ付壹錢六厘出シヲ持參被下、就テは前之通りノ竹ノ子飯ヲ思立、竹ノ子ヲ永井九ニテ凡四貫目買、とり好ニテ飯スルコト

二十四日 午前七時ヨリ惣代兩名及宮惣代兩名共同時ニ出席有之、神祭ニ付当村世話係リニ付、弓竹ヲ朝向日神社へ立ニ行、午前十一時頃ニ戸長役場へ出頭被下、惣代兩名ハ前時ヨリ該場

ニテ地押異動地券ト告申書ト語合仕、其後役場新台帳調正致し、右件々ニ四名相係リ居候ヲ、午後三時頃ニ三名退席ス、永井九氏ハ該場退席ノ上、氏子惣代集会ニ付出席被致候事

同日回送有之、乙訓郡聯合議員森本村清水七郎兵衛辭職ニ付、改撰ヲ可致投票用紙来リ候、来リ廿六日村議員ヨリ投票致スコト、同明廿五日午買<sup>(馬)</sup>ニ行手積リニ付、會計より金拾円借用ス

二十五日 神祭之乗馬買求メニ上京スル人名、小野・民秋・永井・小じま政・清水・小じま久六名上京致、買馬三疋代金拾貳円ニテ買求メ候コト、午後九時頃ニ帰宅ス、同朝中村吉右衛門妻死亡ニ付報告認許書下ケ渡し願書認メ候コト

二十六日 雨天 午前八時ヨリ惣代兩名出席シ、前日勘定仕、其後町村議員投票ヲ各議員ニ撰拳シ、午後ヨリ墓所戸割之名前書入仕候コト、午後四時三十分ニ該投票ヲ役場へ持七遣七候コト、次ニ午后一時頃ヨリ民秋徳兵衛事務所罷出、昨日旅費は取敢小嶋政次郎ヨリ金五円丈ケ借被下様申越ニ相成候、依テ小じま氏ヨリ借入スルコト

廿七日 晴天 午前第七時頃ヨリ賃人足五名下桂村<sup>(桑)</sup>迄泰樂道具取行コト、次ニ各組長行燈立スルコト

廿八日 前午八時惣代兩名出席シ、戸長役場へ行、台帳ヲ拝借シ持帰り、同時ヨリ永井九郎左衛門出頭被下、午後ヨリ小じま政二郎出頭有之、皆々該帳簿ニ訂正致し居候事

同時戸長役場へ軍人ニ係ル戸割ノ金及高等学校補助金共計拾円拾四錢出金ス、就テハ受取ヲ持帰り候事

同夕藤田おこの徴役満期ニ付帰り候処、清水市右衛門へ出頭シ段々口伸シ候故、兩名事務所出席シ親類木ノ山武兵衛ヲ呼、右咄シヲ致し(カ)以後其許へ相送り可候コト

二十九日 午前八時ヨリ右台帳ヲ語合訂正ニ付、永井・小じま政・惣代兩名共出頭候

三十日 惣代清水氏上京シ、板石買求メ有之代価ヲ仕払ニ行候、小じま休ス

五月一日 神祭ニ付、駆馬三疋午前十一時ニ当村着手シ、午後十二時十五分ヨリ駆出シ仕、小じま政・小じま久・民秋氏該馬ニ係ル居候、中飯酒肴ふし竹ノ子ト出シ候、各々組伍長ハ鳳輦之共ヲ致被居候コト

二日 午前ヨリ清水・小じま・宮惣代兩名出席被下、祭日之入

費ヲ取調、十一時ヨリ台帳語合ヲ十二時迄致し居候、午後ヨリ清水・小じま久出席シ、村四月分経費ヲ訂算致し候コト  
同午前六時頃ニ土山捨吉鶏三疋盜難ニ係リ、届ケ書ヲ認メ警署(察脱)へ届ケヲ出し候、同日ヨリ字於妙林井戸サラエ始メ

三日 午前七時ヨリ地主惣代・惣代兩名共出席シ、台帳ノ算ヲ訂正ニ係リ候、午前十一時ヨリ宮惣代集會ニ兩名出席被致候、就テ該夜勤仕候人名秋田・惣代兩名共右訂算ヲ仕候コト、次ニ永井太左衛門及永井次郎右衛門粉種盜届ケ書差出候、藤田甚兵衛出産報告スルコト

四日 午前七時四十分秋田・惣代兩名出席仕候コト  
同日午前ニ早朝ニ才造依頼来リ、金子拝借被下ト申来り候ニ付壹円五十錢貸候テ、突井戸七ヶ所約定シ、壹本ニ付三十錢ノ約定ス、同日ヨリ手始メ仕候コト

五月五日 晴天 午前第八時頃ヨリ土地台帳算スルコト、永井九郎左衛門・小嶋政次郎・秋田富三郎・惣代式名、同夜勤スルコト

五月六日 雨天 午前第八時頃ヨリ土地台帳地位等級算スルコト

ト

右六日 午前七時より地押二係ル、各々出席被下訂算仕候処、  
午前十一時より永井・小じま政両名、神祭之勘定ニ付、向日町  
津の平ニテ立合勘定出頭被下候、和田・惣代両名台帳訂算致居  
候コト

七日 午前八時より各々出頭被下、台帳ニ訂算致居候コト  
次森清七井戸井筒直シニ付、永井善右衛門・永井平治半人五錢  
ニテ遣コト

八日 晴天 午前九時頃ヨリ聯合町村会ニ戸長役場え永井九  
郎左衛門・清水市右衛門出頭際ニ、本年神祭勘定致置候テ出頭  
スルコト、次ニ森清七及和田助治郎、字上川原及馬立・切ノ  
口・山ノ下・下川原都合五本井戸サラエシテ立合スルコト

九日 晴天 午前八時頃ヨリ同土地台帳地価地租及反別惣計算  
ニ永井九郎左衛門・小嶋政次郎・秋田富三郎取調スルコト  
次ニ午后三時頃ヨリ小の五郎右衛門出頭シ、永井九郎左衛門乙訓  
郡聯合會議員投票ニ相成候ニ付、明日午前十時迄ニ戸長役場え  
出頭ノコト、木ノ山武兵衛係ル開墾ニ付自首書署分差出ス(マ)コ  
ト、同日生嶋五右衛門、茶業組合製造方より届ケ書ヲ取認メ可

被下様ト被申居候コト

十日 雲天ニテ雨無シ 午前第八時頃ヨリ郡役所土地台帳読合  
スル事行候処、同日民秋徳兵衛出頭シ、就学ニ付(名管)メイ与委員ニ  
テ予テ担当可仕ニ付、各伍長へ一応口告致シ被下候様申来リ候  
コト、同日台帳調ニ秋田・永井・小じま政・清水四名出席被下  
候コト

十一日 午前八時より惣代両名出席仕、就テハ永井・小じま政  
両名郡役所へ出頭被下候、同日午前九時ニ藤田重郎兵衛出頭有  
之、藤田吉郎吉之地所床下ケ件ニ付出頭有之

同夜各伍長招キ、神祭及向神社ノ年度計算費戸数割ニ付集會仕  
候処、本月十九日迄ニ戸割六錢五厘取纏メ候テ事務所収金スル  
コト、残り五錢ハ六月末ニ取纏メ収領可致コト、都合拾壹錢五  
厘ツ、割ニ候、就テハ生徒ニ係ル目用委員民秋徳兵衛ニテ戸長  
よりシ(指名)メシテ相定リ候処、是又予テ生徒ニ係リ件々ハ該人ノ認  
メ印ヲ受ルコトヲ各組へ口告スルコト口伸ス、同墓所闡引ノ現  
場ヲ我等持ノ場所へ去(悉)ル十九日迄ニ名前ヲ記スルコト  
右件々各組伍長へ集會席ニテ惣代より談口伸候事

十二日 午前八時惣代両名出席シ、永井・小じま政出席被下、

台帳ヲ訂算仕居候事、次ニ午后馬場村惣代式名突井戸ニ付出頭ス、同日午後安井直次郎東ノ口田地床下ケ被致候ニ付該人招キ、追々説諭致し中程ニ相談シヤメルコトニ申被居候事

十三日 晴天 午前第八時頃ヨリ土地台帳調製係ル、永井九郎左衛門・小嶋政次郎・惣代式名、次ニ馬場村突井戸機械返却相成候、次ニ井上万吉弟郁之介就学猶予願差出シコト、次ニ午后四時頃ヨリ馬場村機械返却人員五名事務所出頭シ、道具一式御改候処、万力耆挺丈ケ持參致候ニ付段々取調候処、全ク武市才藏持帰り居候テ、馬場村人足耆名付添ルニテ万力取出シ行事、同日武市才藏ニ過日井戸サライノ分殘金壹円弍十錢渡ス、帰宅ス

十四日 晴天 午前八時頃ヨリ事務所出勤シテ、馬場村ヨリ万力返却相成、同日村民墓所戸数割再調ノコト、字西小路旅所地ニ有之永井入建物え井戸突機械一式入置ニ付、錢人足和田助次郎半日・安井与左衛門耆日ニテ取片付スルコト、午后五時頃ヨリ帰宅ス

十五日 雲天 午前第八時頃ヨリ事務所土地台帳取調スルコト、永井九郎左衛門・小嶋政次郎及惣代取調スルコト、午后二

テ向陽校教員式名出頭シ、当村ニテ小学入学(見)小童為源(幻)ト器かげ父兄ニテ勸考ノ為、来ル十九日当村ニテ致シ度候依頼相見、惣代・小嶋氏帳シテ帰宅ス、同日其事(病)晒帰途中ニテ清水宅え罷越相成候、相談ノ上帰宅ス

十六日 雲天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤シテ、学事員(委員)々民秋徳兵衛事務所罷越シ、右昨日御咄シ相談候ニ付色々談決スルコト左ニ、源藤器席何れ之取調ニテ取極メ、先勝林寺宅借ルコトニテ決テシ、入学子不学ニ付其諭示スルコト、嶋田重介・角上明道事務所迄呼寄テ諭示スルコト、本日午后ヨリ戸長役場え惣代・学事委員とも出席スルコト

同日午后当村寺院什物取調ニ官理(吏)ヨリ派出ニ相成候、廻送ス

十七日 晴天 午前第八時頃ヨリ土地台帳再調ニ付永井九郎左衛門・小嶋政次郎・惣代兩名郡役所出頭シ、午后五時頃ヨリ帰宅ス、次ニ木ノ山武兵衛字南小路拾五番無開ニ付、署分自首書差出候、和田伊兵衛普請願認メルコト

十八日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名及小じま政当役所へ台帳語合ニ出頭致し候、就テハ中飯鳥好ニテ弁当取り候テ、午後五時ニ帰宅仕候

十九日 午前七時ヨリ兩名出頭仕、同台帳ヲ取調色々訂正仕、同日各伍長ヨリ神祭費取纏メ出金有之候コト、次ニ金拾円五厘五毛會計方永井次郎右衛門へ預置候也

二十日 日曜 午前八時兩名出席仕、早各組伍長之車検査當場ニテ明廿一日ニ有之ニ付、各戸へ口達写サシ候コト、就テハ郡役所へ台帳合ニ出頭致し候コト、同日午后馬場村ヨリ機械料四円五錢ノ所金三円丈ケ持參ニテ、取敢ス預リ置候也

二十一日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代出勤シテ、土地台帳惣計スルコト、次ニ村内諸車検査ニテ、午前八時迄向日町役場之車持主行コト、次ニ藤田重郎兵衛荷車破損ニ付、修繕印押替願書認メ差出スコト

二十二日 午前八時二小しま出席仕、早戸長役場小使持來候書面ハ、高等小学校廿年経費金ノ内寄附金ノ願書ニ調印ヲ被下ト申來候ニ付、清水・小じま調印仕候、次ニ各組長之倉社<sup>(マ)</sup>米交換ノ為、壹戸ニ付三石宛ニ借ニ付相成候ニテ、借リ望ミノ者借用スルコト各組長達シス、次ニ井上勘右衛門井筒塞石京都ヨリ取出シちん老枚六錢五厘ツ、都合拾枚代六十五錢相渡ス候事、土地台帳<sup>(總)</sup>宗計スルコト

二十三日 雨天、午后三時頃ヨリ天気相成候也 午前第八時頃ヨリ出勤シ、土地台帳總計字計書記ス、次ニ茶畑反別取調書及鑑札引換スルコト、次ニ佐々木寅吉鉄道局戸籍取調書在籍戸長証明被成下度之願書差出、次ニ向陽校教育<sup>(員)</sup>芳山静次ヨリ過日来ヨリ依頼置候ノ幻燈会ノ儀、書物送達ニ付、其事民秋徳兵衛ニ相談スルコト、午后五時頃ヨリ人民勸考為出席人民号札渡スコト認メテ、各組長之其件<sup>(總)</sup>篤篤ニ諭示スルコト、帰宅ス

<sup>(四)</sup>二十三日 晴天 午前第八時頃ヨリ当村法花寺本堂ニ於テ幻燈会场取片付、人足式名・檀中惣代及村惣代取片付スルコト、午后八時頃ヨリ幻燈会開、教員五名演説シ、終ルコト午后十一時三十分閉場ス、夫ヨリ酒宴開ニテ夜午前三時頃ヨリ帰宅ス、学事員及村惣代とも開会スコト

二十五日 晴天 午前第八時頃ヨリ法花寺跡片付、人足式名及民秋・清水・小使式名ニテ取片付、又人老名は機械吉祥院村返却行コト、事務所出勤午前第十一時頃也、夫ヨリ廿壹年神事費馬場村持參ノコト、小西与八茶業者反別取調スルコト、馬場村井戸突機械料差引拾五円五拾五錢持參致、機械書面返却スルコト

二十六日 晴天 午前第八時頃ヨリ誤謬名義訂正御願認メ、字  
限惣計スルコト、永井九郎左衛門乙訓郡聯合会出席ス、奨励員  
票投各組長・五人組頭投票スルコト、午后二時頃ヨリ開札候  
処、高点永井九郎衛門当撰ニ付、其事戸長役場へ通知スルコト

二十七日 日曜 休

二十八日 雨天 午前第八時ヨリ民秋徳兵衛依頼ニテ字上川原  
番水割方内談ス、午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、色々事務所  
取係リ、午前第十一時清水寅七入籍御届ケ差出、午后二時頃ヨ  
リ森山宗兵衛昨十六年魃早際京都府ヨリ金拝借ス返金スル願書  
差出、次ニ巖嶋熊次郎・植田重左衛門・林田亀次郎、字切ノ口  
及上川原・山ノ下番水割方都合相談スルコト、次ニ学事二係ニ  
付、惣代、民秋徳兵衛小学校之回答スル紙袋とも渡スコト

二十九日 晴天 午前第八時頃ヨリ総代上京スルコト

三十日 晴天 午前第八時頃ヨリ総代出勤スルコト、清水寅七  
三男末吉出産及亡死届ケ書式通差スコト、次ニ木ノ山武兵衛開  
懇願書差出スコト、川堀間割スルコト、前田郁太郎及築山半兵  
衛

三十一日 午前八時ヨリ惣代兩名及小じま政出席シ、台帳抜書  
替シ致居候テ、午後五時半ニ退席ス

六月一日 晴天 午前第七時頃ヨリ惣代出勤シ、村中川堀ノコ  
ト、第八時頃ヨリ各組長井出堀割方・番水抽籤スルコト、又学  
事委員村中就学童子父兄ニ示諭スルコト、次ニ土地台帳ノ字限  
少計書記スコト、小嶋政次郎及惣代とも認メスルコト

式日 午前八時ヨリ惣代兩名出席シ、午前より上田三右衛門実  
印紛失届認メ該人へ小使より渡スコト、同森好松大阪へ寄留  
籍届ヲ認メ戸長役場へ持シ遣シ候処、午後より書面不都合ニテ  
返却有之候コト、午後ヨリ早々戸長役場へ台帳訂正済ニ付持参  
仕、該役場用係リ小の兩人へ相渡シ候コト、同時誤謬訂正願式  
拾式通願出シ、手数料六拾六錢出金仕、用係リ安田氏ニ渡シ候  
コト

三日 休日

四日 休日

五日 午前第八時頃ヨリ安井与左衛門墓地除掃料玄米壺斗式升  
(ママ)

五合五日分渡ス、次ニ森清七井簡直シ皆金三拾六錢渡スコト

六日 夜七時頃ヨリ誓弘寺図面請取書差出スヨ注意ニテ帰宅ス  
(マコ)

七日 晴天 宇迎川原井出見行テ、水引事ニテ帰宅

八日 雨天 第八時頃ヨリ永井五兵衛入籍届ケ差出、次ニ除地  
ニ及池之地取調シテ戸長役場差出スコト、次ニ番水割方訂正ニ  
スルコト、次ニ板札各營業者配当スルコト、手数料壹枚ニ付式  
厘ツ、取纏メスルコト、第午后六時帰宅ス

九日 休

十日 晴天 午前第八時頃ヨリ村井儀三郎長男村井子儀入籍御  
届ケヲ差出、次ニ同人死亡ニ付除籍願書又壹通差出候テ帰宅ス

十一日 晴天 一乙訓郡上里村出火ニ付、高張持森清七持行  
コト一<sup>(挿入)</sup>

午前第八時頃ヨリ小野五郎兵衛、半治郎戸主讓リ家督相続届ケ  
書差出シ候テ、又次ニ各營業者商標板札キリリ賃壹枚ニ付式厘  
取纏メテ戸長役場へ小使治三郎ヲ以テ差出スコト、次ニ午后ヨ

リ民秋徳兵衛及林田亀次郎式名出張シ、字上川原及山ノ下及馬  
立、右三ヶ所番水割方抽籤スルコト

十二日 晴天 午前第八時頃ヨリ小嶋久兵衛・清水市右衛門・  
各頭中溝堀検査見行事、宇迎川原井出取場検査ニテ帰宅ス

十三日 雨天 午前八時頃ヨリ諸事件済、休日ス

十四日 雨天 午前第八時頃ヨリ中小路熊五郎宅へ近江国ヨリ  
止宿届ケ戸長役場差出シテ、次ニ午后ヨリ事務所出勤スルコ  
ト、次ニ井上万吉弟幾治郎就学猶予願差出候ニテ戸役場差出ス  
コト、次ニ午后五時五拾五分ニ戸長役場より達シ相成候は、京  
伏見ノ内屎尿運送スル時間ハ四月より十月迄午前第八時迄ノコ  
ト、十一月乃至十二月・一月・二月・三月迄は午前第九時迄ノ  
コト、時間違ヒスル者料金拾銭ヨリ二円迄<sup>(罰)</sup>罪金差出ノコト、達  
シ相成候、早速各組長へ達シ方スルコト、次ニ午后第五時頃ヨ  
リ中小路熊五郎止宿有之杉本ゆみ私生はる死亡ニ付死亡届ケ差  
出スコト、次ニ午后四時頃ヨリ小野利右衛門出頭シ、裂地願書  
返却ニ付再ビ地券添エテ差出スコト御咄シスルコト

十五日 雨天 午前第八時頃ヨリ事務所出勤シテ、番水割シテ

揭示スルコト、次ニ村井儀三郎法名及中小路熊五郎止宿者私生  
法名死跡簿え記載スルコト、次ニ午后一時頃ヨリ佐々木次三郎  
前半月分給料六月部渡ス事

十六日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シ、土地台帳等級記  
控更調書スルニ係ル、午后五時五十五分帰宅ス

十七日 休

十八日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤シテ、前半季分  
村費取纏メ根帳調シテ賦課徴収法ニ掛ル、次ニ安井与左衛門字  
迎川原井出セキ直シ賃式人代式拾四錢渡ス、神事費半額分取纏  
メ被下度各組長口達スルコト、次ニ森山宗兵衛孫子ヨ出産届ケ  
差出ス

十九日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤シテ、村費賦課  
取纏メニ掛ル、次ニ山口九右衛門颯彦正持参ニテ代金四錢五厘  
渡ス事、又次ニ清水市右衛門神事費及杭木代・紙代共持参ノコ  
ト、同晩ニテ集会スルコト、小の利右衛門・永井九郎左衛門・  
和田伊兵衛・小嶋政次郎・惣代式名相談スルコト下ニ、第壹  
条、分署棟上式ニ付花火ノ有志柴田好太郎より依頼相成候ニ

付、各村有志応シテ取計スルコト、第貳条、社倉金借用主植田  
九郎兵衛より四百五拾円ノ内貳百円丈ケ返却如何ニ候哉依頼ニ  
付、先右件々は何分切ニ相成候ニ付、先借用人説ニ応シ候歟、  
第三條、堀貫井戸屋武市才藏機械御拜借廉ヲ依<sup>(頼カ)</sup>候得とも、当  
夏分は借スコト相成難候ニテ約候、第四條、要水講滿テ日経ニ  
相成候ニ付催促ニ行コト、小の利右衛門・小嶋政次郎・民秋徳  
兵衛兩名上久世村川嶋庄兵衛方行コトニテ、午后十二時退席ス

二十日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、武市才藏前夜  
事申渡ス、次ニ計算表ニ掛リ、午后一時頃ヨリ小嶋政次郎・民  
秋徳兵衛兩名、戸長役場小野利右衛門兩名、要水講催促上久  
世村川嶋庄兵衛方行事、同日夜各組長会議スル、本年壹月ヨリ  
六月中経費及橋普請・土地台帳訂正費計算各組長見セテ、村地  
租壹円ニ付四錢三厘係リ、営業壹円ニ付五錢、他所地租壹円ニ  
付八錢係、壹戸ニ付拾貳錢係リ之処、麦ニテ五升、麦壹升ニ付  
壹錢七厘定、五升八錢五厘シ、錢ニテ三錢五厘ツ、ニテ決議  
ス、次ニ小学屎尿入札相成ニ付其事御咄シ致シ置候、午后十二  
時帰宅ス

二十一日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代式名出勤シ所え、和田  
伊兵衛事務所え罷出、昨日より向日町分署開行式ノ義一如何候

哉ト答有リ、何ト何れハ有志金ト称スルハ当村総代ニ關係無キノ者也ト言ハ、明治廿年十二月ニ小嶋政治郎始外二十名ニテ有志金召集スル者ハ、左レハ総代ニライテ關係無キニ付総代深配(心)ニは不及、其事直ニ分署え向テ総代より申入相成候ハ、総代可行ニ有ス、左スラ外何名ノ内五円以上有志金集テ差出方え更ニ召集相成候ト考候ニテ、先ス惣代ニライテモ和田伊兵衛説ニ同意ノコト也、サラハ早々和田伊兵衛説ヲ以テ分署え行、遠山氏右其逐一述候処、全ク各村々ニヲテハ(脱カ)老戸ニテ有志金差出、又当村ノ義ハ有志金願書ニは各村トハ以外ニテ小嶋政治郎始外何ニテト書記スニ付、有志金惣代小嶋政次郎ト村惣代式名トニテ召換(喚)スル訳也、当村各有志者ヨリ其事被申候ハ、五円以上名々取調テ差出相度ト依頼(成脱カ)ニ付、早々取調テ差出スコト同日午后一時頃ヨリ、向日町分署ヨリ召換書各五円以上名々支達相成候ニ付、其訳如何候哉御尋入務候哉ト民秋徳兵衛被申、昨日迄ハ召換名々承リ居候ニ付、本日更ニ私シえ召換相成ニ、一如何義心得居候、惣代曰、全ク其訳ハ本日午前第八時頃ニテ和田伊兵衛より被申候訳ケ御答ス、然ルニ向日町分署ト開行式ノ義ハ、私シニライテモ六円以上ノ有志金ヲ募リテ居候ニ付、各村ニテハ五円以上ニテ召換相成候、当村以外ニ付、外何名ニト記載有之候とも私は義ニテも差出乍、死錢ト相成気味有之ニ付、誠ニ不都合被申候ニ付、惣代より早々分署え行テ其事申上

候ニテ召換書支達相成候、左様承知被下度答シテ本月廿四日必(出カ)入頭有タシ、私は惣代ノ後名ニテ事務所勤二行ノ見込ニテ出頭スル事也、午后六時頃ニ帰宅ス

二十二日 晴天 午前第八時頃ヨリ字小川原落水溝サラエ中小路熊五郎ニ依頼ス、又小使は本日前季方協議ヲ切符支達ニ遣スコト

式十三日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、村費決算スルコト、次ニ永井九郎左衛門向日神社ニ係リ集会ニ付宮惣代ニテ出頭ス、取調廉ヲ取調テ帰宅ス

式十四日 晴天 午前第八時頃ヨリ日曜ニ候とも出勤シテ、向日町分署移転式ニ付夫々とも惣代出席ス、同午前十一時ヨリ清水・民秋・小野・和田・小じま政・永井・林田出席被致候候、該日一組要水講割戻シ云々ニ付、上久世村川嶋庄兵衛ニ前日該件ヲ頼置候ニ付、惣代・小じま政より相尋候候、色々ニ川嶋申居候候、明日大藪ノ戸長役場へ否哉返答ヲ承リ参上可致コトニテ帰宅致し候コト

二十五日 午前八時抛り惣代兩名出席シ、早九時ヨリ旧老組講

「割戻シ件ニ付小野氏・和田・民秋・小嶋政出席被下、段々協決之上、同時後ヨリ大藪尋常小学校ニテ該戸長役場へ右四名出頭被下候也、惣代兩名ハ村費ヲ他所分ヲ取纏メ致スコト

二十六日 午前雨天、午后晴天 午前第七時頃ヨリ地租掛リ及麦出売戸ニ付三錢五厘ト麦五升村費分、外ニ式升事務所・大藪とも、都合七升ト〇三錢五厘ト取纏メスルコト、但シ營業売戸ニ付五錢ツ、地租売戸ニ付四錢三厘掛リ、売戸ニ付十二錢ツ、麦式石六斗村費分ニテ売払コト、売石ニ付入札ニテハ売戸九拾五錢、中小路長左衛門落札ニ相成候也

二十七日 晴天 午前第七時頃ヨリ昨日取纏メ金仕訳又ハ會計方預置金五拾八円<sup>(ママ)</sup> 預置候也、又前季より借り金五円拾八錢九厘五毛返金ス、次ニ午后一時字南小路第十五ばん地木ノ山武兵衛開墾地ノ再検査、官員ヨリ出張シ、戸役場小の五郎右衛門<sup>(長脱)</sup> 実地検査ニテ、午后二時頃ヨリ帰都相成候、夫ヨリ惣代ハしまさか境界石入レルコト、秋田嘉兵衛・安井奎右衛門・惣代立合ノ上、人足木ノ山武兵衛入レルコト

二十八日 休

二十九日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、午后ヨリ民秋徳兵衛氏学校就学ノ事ニ付惣代相談スル、又次ニ小野利右衛門事務所罷出ニテ色々御咄スルコト、午后六時頃ヨリ帰宅ス

三十日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代式名とも出勤シ、惣代売名戸長役場へ就学ノコトニ付御尋ニ在越出テ、午前第十頃ニ帰宅ス、次ニ井上寅吉前半季村費不足分徴取スルコト、次同日晩ニテ小嶋久兵衛換退ニ付更ニ撰拳候処、小嶋政治郎当撰ニ相成候ニ付、村中其事ヲ<sup>(披)</sup>披露スルコト、次ニ認許書分署差送コト

七月一日 日曜 休

七月二日 晴天 午前第七時惣代式名出勤シテ、尋常小学入学届ケ書認メ戸長役場差出スコト、并ニ総代管理者小島久兵衛交退ニ付、届書ヲ分署役場へ差出ス、分署有志金ノ受書ヲ差出シ、墓地掃除料ヲ安井与左衛門へ村費差引ニテ勘定之事

七月三日 雨天 午前第八時頃ヨリ惣代式名出勤シテ、土地台帳後等級訳ノ帳簿訂正、次ニ昨年ヨリ墓所掃除料トシテ井月善右衛門玄米六斗預置候処、本年七月一日ニテ安井与左衛門悉皆渡済ニ、井月善右衛門証々返却シテ済、次ニ戸長役場ヨリ徴兵

検査際ニ付、夫迄ニ齡落ノ名義尋ノ義ニ付照会相成候、夫々名義廉之支配ルコト

七月四日 雨天 午前第八時総代兩名出勤、土地台帳等級記ノ帳簿調整之事、同夜民秋・小野・和田ノ三名御苦勞ニ相成、補成講ノ事ニ付内談スルコト

七月五日 雨天 午前第七時頃ヨリ総代兩名出勤、等級記帳簿調整、午後補成講世話方御集會、補成講勤メニ付飯料渡しニ相成哉又ハ然らざる哉ノ処、飯料渡しニ相成候、一ハ今會ニテハ五拾五錢ヨリアラ無之候ニ付、飯料渡しニ候テハ世話方ニ於テ一飯ニ付式錢ノ割金ヨリ無之候ニ付、世話方戸式頭ノ内ニテ式名、総代外世話方クジニテ格番式人ツ、ヲ担当人ト相定メルカ又ハヨブニスル哉ノ相談ノ処、其レニテハ世話方総寄合五錢位ノ膳分ニテ余ハ講金ヲ以テラギナフコトニ決ス、第壹区要水講金請求ニ付員委定メノコト、并ニ要水講菱川村助ノ分ヲモ請求シ、該金ヲ以テ事務所ヘ土蔵壹ツヲ建築シ、尚流筒水ヲ買求ル様決定スルコト

七月六日 雨天 午前第六時清水出勤、補成講配ふ書、六時三拾分永井九・清水兩名等級記ノ書類ヲ以テ戸長役場ヘ出頭ノコト

ト、小島・小島久兩名モ同戸長役場ヘ出頭、総計ノ検査ヲ受クコト、後午六時也

七月七日 午前八時頃惣代兩名出勤、午前第九時頃ヨリ前田善吾事務所罷出、小林宗介及森山宗兵衛・小野元吉地所売買ニ付登記願書認メタルコト、午后一時頃ヨリ六人部氏ヨリ、只今氏子惣代社当修繕ニ付出頭被下度ト永井九郎左衛門宅ニ申越シ相成候、永井九郎左衛門ヨリ小嶋政次郎氏依頼ニ付、小嶋氏早速出頭スルコト、午后六時頃ヨリ帰宅ス

七月八日 晴天 日曜 休日

七月九日 晴天 午前八時惣代兩人出勤、等級記ヲ新帳ヘ写替ノコト、午後万力直し代ヲ功藏示談ノ上、金八拾錢藤田甚兵衛ノ外式人ヘ渡スコト、其ヨリ南ノ口和井川橋ノグワイ悪シク候ト植田嘉左衛門御忠言被下、五時式拾分清水・小島查見致、人足ヲ以テ訂正スル事、六時三拾分退務之事

七月十日 雲天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤シテ、字南ノ口橋詰直シ人足永井太左衛門、惣代兩名実地検査シテ帰り、次ニ鳥好明十一日補成講晩飯献立卸スコト、次ニテ林田亀次郎公

証取消願書認メルコト、次ニ小林弥左衛門長男小林弥三郎徴兵  
 齡ニ付延日記載スルコト、次ニ午后壹時頃ヨリ藤田浅七長女就  
 学猶予願七月十日より八月中休業願出ス、次ニ前田善吾昨日登  
 記願書不都合ニ付再認メスルコト

七月十一日 晴天 補成講勤務ノ事、当日本園林田六右衛門・  
 小川孫左衛門へ落札之事

七月十二日 晴天

七月十三日 晴天 総代兩名午前八時出勤、反別等級照合  
 仕、午後淀坪久・米弥補成掛金不参ニ付会計ニテ拾四円受出  
 シ、該金ヲ以テ落札証ヲ認メ金額引ノ事

七月十四日 午前第八時<sup>(代脱)</sup>総代兩人出勤、戸長長谷川三郎兵衛<sup>(期脱)</sup>満ノ  
 処再ヒ任用ニ相成、其旨告示ニ相成、村内口伝被致候コト、午  
 後小野利右衛門・民秋岩次郎・和田伊兵衛・林田龜次郎御苦勞  
 ニ相成、淀講ノ仕法ノコトニ付不都合相成其旨小野幸太郎へ依  
 頼スルコト

十五日 晴天 日曜候得共 午前第七時頃ヨリ要水講割戻シ精<sup>(請)</sup>

求大藪村・上久世村伊藤藤右衛門<sup>(ママ)</sup>在罷、民秋徳兵衛・和田伊兵  
 衛・小野利右衛門三名帰宅八午前第十一時五拾分也、事務所ニ  
 テ中飯スルコト、次ニ小野勘七<sup>(半后)</sup>七疋持参ノコト、后々四時退  
 散ス

十六日 晴天 午前第七時頃ヨリ要水講係ル菱川村補助分精求  
 南大輔方え精求スルコト、村惣代式名行キ、後日廿式日今壹度  
 精求返事承リ参リコト

次午前より車・国税取纏メスルコト、小野利右衛門出張ス、明  
 十七日村休日ノ事各組長口達候コト、次ニ佐々木次三郎七月分  
 ノ内沓円廿五錢切符渡ス事

十七日 晴天 午前<sup>(ママ)</sup>第八時惣代兩名上京ニテ、午后二時頃ヨリ事  
 務所ニ係ル、同日晩各組長集会シ議案、先川堀日限定メ、続テ  
 番水日限定メ、及戸長勤続之事、川堀明十九日、同日午后ヨリ  
 東菱合溝堀ルコト、又番水二十日日出より始メル事、退務ス

十八日 晴天 午前第七時頃ヨリ事務所出勤シ、永井捨吉出産  
 届ケ認メ差出ス事、前第八時二十分也、次ニ字池田溝<sup>(坂)</sup>掘損ニ付  
 永井長次郎人足ニテ直シ事

同日戸長役場ヨリ虎列刺病浸入流行ニ付飯食法及住意取計スル<sup>(庄)</sup>

様達シニ付、各伍長達ス、午后六時頃ニ退務ス

十九日 雨祝ニ付村中休、晴天 午前第七時頃ヨリ惣代出勤シ、各組長藤田重郎兵衛・中小路弥惣兵衛・植田九郎兵衛三名え相談スルコト左ニ、可成川下迄堀ルコト、番水暫時延日スルコト決義シテ川堀勤務スルコト、第九時事務□コト

廿日 晴天、午后七時頃ヨリ七時ノ間白雨 午前第七時出勤シ事務ス、午后二時頃ヨリ戸長役費(湯脱)及教育費切符送付、正ニ受取、午后六時退務ス

廿一日 晴天 午前第七時頃ヨリ戸長役費・教育費とも切符各戸毎ニ配達スコト

廿二日 日曜 休 晴天

廿三日 雨天、風有甚タシ 午前第七時頃ヨリ戸長役場及教育費とも取纏メ、惣代式名依頼ニテ取纏メス、午后六時頃ヨリ退務ス

廿四日 晴天 午前第七時頃ヨリ字切ノ口掛ケ樋調整ニ付、代

金七拾五錢払、又次ニ戸長役場ヒ・教育費村中地価掛リ出ス、次ニ今里村戸長役場費及村中申合費とも徴収スル、次ニ野口四郎兵衛牛馬売買鑑札返上スルコト、次ニ淀式戸丈補成講掛ケ催促書認メルコト、次ニ要水講ニ付、上世村井上藤治郎方依頼書差出ス、了テ戸籍訂正係ルコト

廿五日 晴天ニテ午后ヨリ雨有テ又晴 村中休

午前第七時頃ヨリ菱川村講精求惣代式名出頭シテ、菱川村南不在ニテ止得ス帰村候、戸長役場借入有之戸籍台帳訂正係ルコト、午后向日神義ニ付明廿六日集會回送相成候、永井九郎左衛門出席依頼シ帰宅ス

廿六日 雲天ニテ 午前第七時頃ヨリ菱川村講催促惣代兩名行候処、南大輔ニテは咄シ相不成候ニ付、村惣代御催促出頭被下度候答ニ付、不敢今一応責公ヨリ咄シ被下度候、猶其上弊村ヨリ御当村惣代え出頭スルコトニ決シテ帰宅候事、又戸長役場ヨリ過日役場ヒ及教育費不足者催促取計回送ニ付、早々小使ニテ各戸え申出ス事、同日晩ニテ菱川村講及上久世村未夕御返事無之ニ付、其事兼テ相談スルコト、和田伊兵衛・民秋徳兵衛・小の利右衛門三名菱川村及上久世村明廿七日精求行事ニ、午后十一時五拾三分退務ス、同日午后ヨリ永井九郎左衛門氏子集會行

コト

廿七日 晴天 午前第六時頃ヨリ小の利右衛門・民秋徳兵衛・和田伊兵衛上久世村精求罷越シ、午前十二時帰宅、午后四時三拾三分菱川村右三名罷越シノコト、同日午前第八時頃ヨリ事務所井戸替スル事、人足木ノ山多吉・植田安治郎・森清七、午前第十一時五十八分仕舞事、次ニ馬場村会計方及向日町・上植野村世話方立合ニテ、午后一時頃ヨリ向日町事務所ニ集会、井戸堀ノ立合ニテ任スコト、午前第十二時淀掛ケ金拾四円式名分小野幸太郎より持参ス、又次午后二時頃ヨリ植田九郎兵衛社倉金拝借抵当米五拾石売却シテ乙訓中米手形記証々五葉持参ノコト、又次菱川村午后四時頃ヨリ三名行、帰宅ハ午后七時頃ヨリ帰宅ス

廿八日 晴天 午前第七時総代兩人出勤ス、午后二時頃講金請求之コトニ付菱川村南郁太郎・谷釜<sup>(釜谷)</sup>伝次郎兩人御入来ニ相成、半額ヲ八月五日限ニ割戻シ、残金ハ本年中ニ割戻シ可致候間、何卒宜敷相頼ト可申、同夜民秋・和田兩人ニ相談ノ処、然ラハ先ツ頼之通ニ決儀ノ事

廿九日 晴天 午前第八時惣代兩人出勤、永井九郎左衛門向神

社井戸ノ事ニ付集会ニ御出被下、清水・小島菱川村へ悪水<sup>(悪)</sup>講ノ事ニ付出头候処、惣代地押之事ニ付久我役場へ行き留主中ニ付、小使ヲ遣シ釜谷<sup>(釜)</sup>伝次郎ニ面会候処、書付ノ義は村員儀一統共議ノ上可致様ノ事、金子ノ義は八月五日ニ持参可仕様ノ事ニ付、民秋・小野・和田御苦勞ニ相成、右ノ件及突井戸等共儀ニ事、突井戸代金ハ拾間ヨリ式拾間迄上吹ニテ金六円、不吹ハ金三円ノ約定ニテ、三十一日ヨリ梯子建ニ係ル事

三十一日 雨天 午前第八時惣代兩人出勤、本日突井戸梯子建ノ事

八月一日 晴天、雨天 午前第七時惣代兩人出勤、突井戸打始メノ事、兩人戸籍書替ニ係ル事、当日人足拾人ニテ三間半入ル、本日本土車耆輦入ル、事

八月二日 晴天 午前第七時惣代兩人出勤、明治式拾老年一月ヨリ六月中上高取調書下出来ニ係ル事、午后清水市右衛門、森好松ノ葬式ニ付休日之事、午后六時退務ス、当日突井戸五間入ル人足九人、土ハ朝耆輦、午后耆輦取りニ行ク事

八月三日 午前第七時惣代兩人出勤シテ、各営業者え上り高分

取調書ニ印形ヲ取ル事

八月四日 晴天 午前第八時惣代兩人出勤、清水役場へ煙草取  
取書<sup>(調)</sup>ノ事ニ付出席、小島戸籍ニ係ル、清水帰着、煙草取調書ハ  
本年五月中ニ差出スベキ者ニ候ニ、是ノ部内ニ限り今ニ差出シ  
之無、布令第貳拾壹条ニ暉<sup>(照)</sup>シ金ニ円以上ニ拾円以下ニ罪スベキ  
処ニ候へ共、至<sup>(急カ)</sup>ニ取調候へハ其ノ罪ヲ免スル故、至<sup>(急カ)</sup>ニ取調ベ  
シト有、戸長右様ノ事ニ付、総代ニ於テ各地ニ付キテ取調至至  
差出シクレヨトノ事、午后突井戸筒入ニ付兩人支出、筒入レル  
事、凡拾間壹尺割込共ニテ拾貳坪ニテ、午后八時頃ニ至リ大水  
涌出スル事

八月五日 晴天 午前第六時頃ヨリ清水・小島兩人煙草取調ニ  
付各地巡廻ノ事、同日又堂ノ前橋ノ端へ突井戸ヲ建ル事、約定  
ハ拾間ヨリ貳拾間迄ニテ水上吹ニテ六円、不吹ニテ金三円ノ  
事、午后三時頃菱川村ヨリ南・釜釜<sup>(金谷)</sup>悪水講金持參ニテ、十一月  
三十日限殘金返済可致様申越シ候へ共、拾二月三十日限迄延引  
被下度頼ミニ付、然ラバ十二月三十日限返済可致様ノ確証差入  
クレ様ト申シ、右様ニキマリ則確証被藏<sup>(マ)</sup>在リ、午后五時頃安井  
直次郎ヲ御苦勞ニ相成、土蔵建築ノ仕方書ヲサス事、同日尤小  
野・民秋・和田御苦勞ニ相成居ル事

八月六日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤シ、田地ニテ  
煙草作付取調スルコト、午前第八時頃ヨリ堂前突井戸突始メス  
ルコト、午后六時頃ヨリ帰宅ス

八月七日 村中休 午前第七時頃ヨリ惣代式名出勤シテ、各人  
民煙草植付反別及數トヲ取調スルコト、營業者上リ高金取調候  
ニテ調印スルコト、再調候也、又地押ニ付地券訂正ノ地券下付  
スルコト、九拾枚各人え調印ニテ渡スコト、午后六時三十分退  
務スルコト

八月八日 晴天 午前第八時小島出勤、煙草作付調へ印形ヲ取  
ル事、八時頃突井戸スイ付、村人足三人ヲ取り十一時頃上リテ  
コボ横ボヲレル、午后三時頃安井与左衛門へ六月ノ内ハノコシ  
七月分皆かし、則五拾錢貸ス事、午后六時退務ス

八月九日 晴天 午前第八時出勤、小島登記所ノ事ニ付戸長役  
場出頭候、長谷川ノ説、今般各郡登記所ヲ建設シ□□ヨリ支出  
シ、一郡ノ□カイヲ登記所ニテスル様ノ事ニ候へ共、本郡ハ久  
世郡合シ淀ニ登記所ヲ建設スル様ニ伝聞仕候ニ付、各長戸<sup>(マ)</sup>ニ集  
会ヲ遂ケ相談候処、其レニテハ不都合ニ付地所建物等ヲ有志ス  
ルニ付登記所ヲ向日町ニ設ケタシト難願<sup>(歌)</sup>候へハ宜敷カラント決

議候、有志ハ凡六百円トシ先一戸ニ付拾八錢候ガ、右有志ノ可  
被<sup>(否カ)</sup>ヲ本月拾三日迄ニ返事致クレトノ事

八月十日 晴天 午前第八時総代兩人出勤、永井治郎右衛門・  
林田龜次郎・木ノ山武兵衛・木ノ山多吉ノ開墾地券書替下付願  
ヲ差出シ、猶烟草作付届等清水氏戸長役場へ持参ノ事、同夜各  
組長へ登記所ノ事ヲ御談候処

八月十一日 晴天 午前第七時ヨリ出務シテ、安井武右衛門地  
目変換地券書換戸長役場へ差出スコト、但シ手数料金三錢相添  
ルコト、同日午后六時頃ヨリ各伍長例年納涼スル事

八月十二日 晴天 午前第七時頃ヨリ民秋・和田・小野・惣代  
出勤シ、土蔵新築ノコト相談シテ、及突井機械義一件相談、村  
人民借与ルコト、大工事務所呼寄、積書本月十八日迄持参スル  
コト、出席大工橋本藤吉・安井宗八、午后五時頃ヨリ世係<sup>(話脱カ)</sup>リ三  
名退務スル、同晩小使ニテ明日ヨリ水番始メルコト

八月十三日 晴天 午前第八時惣代兩人出勤、諸払仕、九時頃  
菱川村南行之助御入来被下、持金ハ満講相勤ル迄御延引被下  
度、尤モ満講ニ相成候へ共、岐度返済可致確証差入候間、何分

宜敷御頼ミ申上候様ノ事ニテ御帰リノ事、午后六時退務ノ事  
「<sup>(備考)</sup>同日々ノ差ヨリ番水ノ事」

八月十四日 晴天 午前第八時惣代兩人出勤、郡村宅地畑租・  
山林租ノ収納ニ付小野利右衛門氏出張、午后六時頃退務ス

八月十五日 雲天 午前第八時頃ヨリ烟草反別下調官吏式名出  
張シ、戸長役場長谷川与五郎・惣代式名実地検査スルコト、午  
前第十時相済、午后二時頃ヨリ昨年分署有志金賞トシテ木盃巻  
組下賜相成候、各衆中後日其事御咄スルコト、次ニ字切ノ口和  
井川井出取落合堀サラエルコト、中小路熊次郎依頼スルコト、  
又次ニ字下川原小畑川橋上テ道路破損ニ付、惣代実地検査スル  
コト、退務ス

八月十六日 雨天少シ 午前第八時頃ヨリ烟草反別取調之義ニ  
付、小嶋政次郎第九時頃ヨリ戸長役場出頭シ、林田龜次郎及木  
ノ山武兵衛開墾届地券書換再取調ニテ戸長役場差出スコト、又  
次烟草反別之エヲニテ字番及反別・株数及作人姓名記ス、惣代  
式名右件ニ係ル事

八月十七日 晴天 午前第七時頃ヨリ烟草反別及株数記ス立ル

コト認メスルコト、午前第十一時頃ヨリ退務ス

八月十八日 晴天 午前第八時頃ヨリ蔵普請入札開ニ付、夫々世話方立寄リテ開ク事、次ニ安井与左衛門墓所掃除代先借シスル事、橋本藤吉木材工手伝とも及手伝竹繩とも金四拾六円四拾五錢入札落札ニ付、右之者え請負相成候事

八月十九日 晴天 午前第六時頃ヨリ惣代菱川村行、民秋徳兵衛・和田伊兵衛・小野利右衛門右三名は上久世村行、同日晩ニテ地価(評説)一統協議スルコト、分署有志金賞トシテ木盃組下賜一覽スルコト、書類蔵建築ノコト、農談会員投票スルコト、突井戸機械無賃ニテ借用スル事村中人民及邸地限りノ事、旧要水講一件、右五件義案候哉、左ニ出席人ヲ記ス  
小じま久兵衛・湯川伊之介・中小路宗左衛門  
小林喜平治・秋田駒吉・永井治左衛門

堀池半右衛門・植田嘉左衛門・植田九郎兵衛  
永井次郎右衛門代リ・永井五兵衛・中小路弥惣兵衛代リ  
小野利右衛門・永井九郎左衛門・民秋徳兵衛  
和田伊兵衛・藤田吉之介・同 治郎吉

安井直次郎、惣委員十九名ニテ決議スルコト、蔵共有金ニテ建築スルコト、退席午後十二時三十分候事

八月廿日 晴天 午前第七時頃ヨリ戸長役場小使ヲ以テ該村限全函取調之義ニ付差出可様報知ニ相成候処、小使ヨリ第八時頃ヨリ取纏メ相見え直ニ渡ス事

八月廿一日 晴天 午前第七時総代兩人出勤、營業者通判取帳取纏メノ事、第十時頃ヨリ町村制ノ事ニ付、清水戸長役場へ出勤ノ処、戸長ノ説、今般町村制発布ニ付町村合併致スベク付キ、向日町・鶏冠井村・上植野村ヲ合セテ向日町ト称へ、森本・寺戸・物集女ヲ合併シテ寺戸村ト称ベキ様、郡長ヨリ照会之候哉、各村総代ノ意ケンハ如何ト有り、各村総代ニ於テハ成ベクバ六ヶ村合併致シタシト申セバ、町村制規則は三百戸以上五百戸未満ヲ以テ壺村ト定メノ規則ニ付、六村合併セバ七百戸以上ニ相成ニ付、陸ヶ敷思ヘドモ、今一応郡長ノ宅へ参リ対面仕内意ヲ承リ、成丈儘力可致トノ事ニテ、当村退散ノ事  
同夜右ノ件ニ付、各組長・村會議員等御勞苦ニ相成、御相談相係ケ候処、各議員ノ申スニハ、六ヶ村合併ガ出来バ宜し、然ラヅンバ向日町・鶏冠井等ト組合ハ不服ニ付、何程ノ實力入ルトモ一村テ建テタシトノ意建(見)ニ議決シ、右様ノ事ヲ明早朝戸長へ伝言致シクレトノ事ニテ退散ス、当出席人員ハ左ニ

総代兩人・小野利右衛門・民秋徳兵衛・和田伊兵衛・小島久兵衛・湯川伊之助・小林喜平次・植田九郎兵衛・永井治郎左衛門

門・中小路弥三平・藤田吉郎右衛門・藤田重郎兵衛・植田嘉右衛門、計拾四人、時二午后十二時成リキ

八月廿二日 晴天 午前第六時総代出勤、前日ノ事ヲ戸長へ伝言ニ付小野利氏同道ニテ戸長役場へ参リ、烟草作付届洩ヲ差出し、并一村全□<sup>〇</sup>ヲ差出ス事、戸長午前九時頃御出勤ニ相成、前日議決ノ事ヲ長戸<sup>〇</sup>へ申入候処、先拙者見込ニテ一村ノ質力ト申バ壹万円位ハ無之テハ独立スル事不能ザル哉、其御村内ニテ壹万円ノ積立ハ有之哉ノ御尋、拙村ニ於テ壹万円ノ積立は今ニ積立ハ無之候へ共如何ナト致シ積立ハ致スト申セバ、其ニテハ一向受付サルニ付、今ニ壹万円ノ積立有之候へハ独立可致、サモ無クハ陸ヶ敷トノ事、然ラハ六ヶ村合併ノ事郡長へ願ヒ、郡長ニテ許可セザル時ハ府知事へ願、知事ノ許可セザル時は内務大臣へ難願<sup>(歎)</sup>スル程行テクレトノ事ニテ散席

八月廿三日 晴天 午前第七時総代出勤シテ、各営業者印紙帳及通ト取纏メスルコト、其他諸事務スルコト、午后ヨリ休業ス

八月廿四日 晴天 午前第七時頃ヨリ諸事務勤、午后ヨリ町村制ニ付種々相談スルコト、小野五郎右衛門・民秋岩次郎・永井九郎左衛門・小野利右衛門・総代談決ス、午后六時頃ニテ退務

ス、電信杭田畑山林ノ内杭数改テ取調テ戸長役場差出スコト

八月廿五日 晴天 午前第七時頃ヨリ各営業者印紙帳及通戸長役場差出ス、次ニ町村制ニ付一分落係ル共有財産及村中申合費、養水及道路・井路対スル経費凡百拾五円、或ハ共有金何百何拾円、反別何程取調テ差出スコト、次ニ久世村より戸長役場へ出願ニ付、小野利右衛門氏一名ニテハ都合<sup>(不脱カ)</sup>ニテ民秋徳兵衛氏壹名、午前ヨリ向日町戸長役場迄出頭ノコト、式名直ニ伊藤藤次郎氏面会スルコト、午后一時ヨリ向日町戸長役場へ町村制ニ付ケンキエ会ニ付出席、永井九郎左衛門・民秋岩次郎及総代式名計四名出席スルコト、了テ午后六時頃ヨリ帰宅ス、午前橋本藤吉普請ニ付木材買求ニ付、先金ニテ五円渡ス事

八月廿六日 晴天 午前第七時頃ヨリ土蔵建築ニ付種々相談会スルコト、断<sup>(カ)</sup>ニテ瓦屋請負任ス事、直ヲ其他色々相談スルコト、中小路熊五郎土取場取纏メスルコト咄シス、其他世話方三名ハ伏見石屋掛ヶ合行事、午后一時頃ヨリ中小路熊次郎郷藏北ニテ先キ土取場所ニテ先見堀ル事、惣代実地見行事

八月廿七日 晴天 午前第七時頃ヨリ要水講事ニ付、第七時ヨリ八時迄ノ間世話方色々御咄シ相談スル事、夫ヨリ民秋・小野

兩名上久世村ニ行テ、午后六時頃ヨリ帰宅相成候、金四拾円掛ケ金ノ内受取候テ書記テ渡ス候也

八月廿八日 晴天 午前第七時総代兩人出勤、通判取帳再調申越し相成、該調ノ上直ニ戸長役場へ差出ス、其他諸般事務ヲ取ル事

八月廿九日 二百十日ノ懼しか雨天 午前第七時総代兩人出勤、本日ヨリ大工藤吉土蔵建築ニ手始メノ事、第八時頃民秋徳兵衛御入来ニ相成、該蔵土ノ相談仕、秋田駒吉ノ字西小路ノ山林ノ土ヲ貰フ事ニ決ス、過日来藤田重郎兵衛ノ名義ニテ借付ノ突井戸道具返却ノ事、同日字堂ノ前突井戸村人足ニテ切下し候処、聊少之水流下ス

八月三十日 雨天 午前第七時頃ヨリ土蔵普請ニ付土取場、中小路熊次郎・民秋氏・惣代兩名、土取場秋田駒吉所有山林ニテ依頼ス、凡取坪式坪十五人ニテ受取、上土ハネ耆人増ス事、十二人手伝定、同日井戸突機械返却ノコト、本月廿一日ヨリ同月廿九日迄九日間、壹日分拾三錢五厘ニテ此代価壹円式拾壹錢五厘受取候也、同日夜十二時頃ヨリ異風吹、永井伊右衛門本家倒レ、午后二時頃ヨリ伊三郎妻とも家下ニ相成候、大勢上ケテ隣

家者呼寄コエ今村友治郎キコエ、早速現場駆付色々手儘力仕、幸ニシテ免レ候也、右伊右衛門小家掛料及食料救助願ヲ致ス事

八月三十一日 晴天 同日夜中番水終ル、同午前八時頃各組長御苦勞ニ相成、諸所破損ノ調査ヲ差出ス事

九月一日 晴天 午前七時頃ヨリ総代兩人出勤、諸事取扱、午后突井戸字堂ノ前ノ突井戸水出候間、一応御檢分被下成度様申出ル事、本日村中ヤスマ

九月二日 晴天 午前第八時総代兩人出勤、八月中計算ノ事

九月三日 晴天 午前第八時頃ヨリ総代兩人出勤、字野上山秋田駒吉有地(所脱カ)ヨリ普請土ハコヒスルニ付、実地見行事、午后小野・民秋兩名依頼、土蔵新建実地シバリスルコト、大工宗八愈々明日四日ヨリ前土手開キスルコト

九月四日 雲天 午前第八時頃ヨリ前土手開キスルコト、午前第十一時頃ヨリ村会議員、町村制事ニ付郡役所出頭スルコト、和田伊兵衛棟上祝義トシテ金三拾錢差出呉相成候、其事ニ付小嶋久兵衛氏談示候テ帰宅ス、午后京都府森本書記官郡役所へ御

出張二相成、町村制ノ事ヲ御申渡ニ相成、清水・小島・永井・植田・藤田出席ノ事、午後八時退席ス

九月五日 晴天 午前第七時頃ヨリ総代兩人出勤、永井伊右衛門崩家ノ救助トシテ金壹円、今村友次郎ニ其時ノ儘力ニヨリ賞トシテ金三拾錢、何レモ当村補成講ヨリ下賜ノ事、同日ヨリ中小路熊五郎土ハコビニ掛ル、尚森富吉ヲ雇ヒ、土コネ場狭キニ付、和田伊兵衛ノ壁土ヲ取上ル事

同日町村制分離ノ件ニ付集会人員左ニ、民秋徳兵衛・小の利右衛門・小嶋久兵衛・永井次左衛門・植田嘉右衛門・和田栄次郎・永井九郎左衛門・小林喜平治・中小路弥宗兵衛・小の五郎右衛門、右過日戸長役（揚脱）依置候ニ付、猶再郡長ヨリ六ヶ村聯合六ヶ敷ト答ニ付、愈式ヶ村（頼脱之）ニテ分離スルコトナラバ上植野村壹ヶ村ニテ壹町村立チ行クノ協議ニ付、明日六日京都府森本書記官自宅ニ尋問参上スルコトニ、午後十二時ニ帰宅ス

九月六日 午前第七時頃ヨリ土蔵建築実地東ノ口ヨリ人足七名ニテ土ハコブコト、午后二時頃ヨリ惣代兩名及永井九郎左衛門・小野五郎右衛門四名上京スルコト、同日午后六時機械返却ス

九月七日 午前第七時頃ニテ、森本官自宅ニテ面会シテ、同日午後二時頃ニ帰宅ス、次二人足六人ニテ土ハコビスルコト、次ニテ地方税切符各戸ニ支達スルコト、同日晩ニテ前夜人員再集会スルコト、員々、永井九郎左衛門・小林喜平治・藤田重郎兵衛・小野利右衛門・小野五郎右衛門・永井次左衛門・植田嘉右衛門・小嶋久兵衛・和田伊兵衛

愈六ヶ村相立兼候ハ、上植野村壹村相立候決議、後日右事ニ係ル事小野五郎右衛門氏村惣代トシテ、三名依テ其事負担シテ被下度、壹統協議相成、午後十一時皆帰宅ス

九月八日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、森富吉人足二日代式拾式錢渡ス、同日菱川村藁代百束六拾錢買求、大工藤吉金拾円渡ス、午前第拾一時頃ヨリ帰宅ス

九月九日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、諸事務スル、同日今里村地係リ八錢出ス事、了テ六時頃ヨリ帰宅ス

九月十日 雨天 午前第七時頃ヨリ惣代出勤シテ、井戸突機械返却相成候、改之上請取、猶地方税取纏メ、土ハコヒモ本日午前ニテ方付相成候、午后ヨリ土コネニ係ル事、猶午后ヨリ各人足出方ニ付、各組長ニ儲蓄米預リノ事及人足出方取極メ種々相

談スル事、同日午后ヨリ安井与左衛門・中小路熊次郎半人ツ、土コネスルコト、次ニ菱川村南行之介新要水講掛金証々調整ニテ当村事(務所脱九)之持参ノ事

九月十一日 雨天 午前第八時頃ヨリ総代出勤シテ、去ル三十日夜暴風為、家潰亡ニ付小屋掛ケ及食料とも願出ノ事ニ付、郡役所ヨリ中野氏実地檢分トシテ出張相成候、其後向日町戸長役場ニ町村制ノ事ニ付種々咄シ、戸長三郎兵衛面会致度トテ役場行候処、戸長不勤ニ付不<sub>レ</sub>得<sub>レ</sub>帰宅候事、了テ午后三時頃ヨリ也

九月十二日 晴天 午前第八時頃ヨリ清水は町村制ノ事ニ、小野五郎右衛門ヨリ戸長上京ニテ気分要キニ付延<sub>(惠)</sub>ニ相成候テハ不都合ニ付、戸長在宿迄書面ニテ差出ス事相談スル事、早々事務所帰宅シテ上京之書差出スコト、次ニ上久世村戸長殿之殘金式拾円依頼書面小使持シテ参リコト

九月十三日 晴天 午前七時頃ヨリ石屋三名本日ヨリ取係ル事、午后一時頃ヨリ他世話方小野・民秋兩名出席、中小路熊次郎始メ式名依頼、地場石ヒライ及地付下ゴシラエス、次ニ安藤正之介死跡相統願書差出ス、及分署自首書とも差出ス、午后五時ニ奥海印村(寺脱)ヨリ瓦車三輛着スルコト

九月十四日 晴天 午前第八時頃ヨリ口組中人足ニテ地突及石ハコヒスルコト、世話方小野利右衛門・民秋徳兵衛依頼シテ下地竹見行コト

九月十五日 晴天 午前第八時総代兩人出勤、民秋共、午后清水・民秋・久(小島)・小野利右衛門出頭、三時頃町村合併請願書戸長役場ヨリ差越シニ相成、調印スル事、清水市右衛門・小島政次郎・永井九郎左衛門・民秋岩次郎・小島久兵衛ノ五名也

九月十六日 晴天 午前第八時頃ヨリ石工人足植田善兵衛及植田清次郎兩名也、午后一時頃ヨリ井戸突機械損ちん四日代金五拾四錢受取金會計方預ケ置候也、次ニ藤田重郎兵衛竹依頼スルコト、民秋徳兵衛普請見ニ越シ、午后三時頃ニ帰宅ス

九月十七日 晴天 午前第七時頃ヨリ土蔵下地竹川嶋太兵衛切ラスコト、安井与左衛門・熊次郎土コネスルコト、又次人足植田嘉左衛門・藤田彦四郎石工人足候也  
小野利右衛門・民秋徳兵衛兩名出勤スルコト、同日午后五時ニテ石工仕舞スルコト、大工堂台直シスルコト

九月十八日 晴天 午前第八時頃ヨリ植田みつ代理植田嘉左衛

門人足後片付スルコト、佐介玄関戸直シスルコト、又川嶋太兵衛足場竹切ルコト、戸長役場執務時間は本日より午前第九時より午后三時迄相成候達シ相成候

九月十九日 晴天 午前第七時頃ヨリ総代、石屋藤田政次郎石代・石工とも拾六円八拾錢五厘及残石壹ツニ付八錢十八個代壹円廿八錢渡ス、民秋徳兵衛・惣代とも渡シ方ス、次ニ昨年地押并期明両とも租税追徴返却金各戸下戻リスルコト

九月廿日 雨天 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤、明治廿年度田畑山林原野宅地租下戻シ金ヲ各戸ニ渡シ調印ヲ取ル事、午后清水休、中小路久蔵ノ印鑑証明ヲ認メノ事、同五時退務致候事

九月廿一日 雨天 午前第八時総代兩人出勤、安藤正之助地券書替願シ、明治廿年度田畑山林原野宅地租下戻受取書ヲ戸長役場へ差出シ、猶中小路久蔵公証取消并死跡相続証明願ヲ認メ、又永井伊右衛門小家掛料及食料救成願訂正シ差出ス事

九月廿二日 晴天 午前第八時頃ヨリ村用ニ付京都へ行、同夜三条大橋東へ入鍵屋ニテ宿リ、廿三日午后二時帰郷ノ事

九月廿三日 晴天 本日帰郷候処、土蔵ヨイ建ノ事

九月廿四日 晴天 午前第八時頃ヨリ棟上式、大工及手伝六人え祝義遣ス、酒式升・するめ壺わ、目出度終、同日夜七時頃ヨリ村惣代及世話方・各五長・村会議員拾四名棟上式行、午后十一時三拾五分帰宅ス

九月廿五日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代壹名出勤シテ

同夜金ヶ原村七右衛門外壺家失火、藤田浅吉高張以至ル事

同夜午后八時頃ヨリ向神社界内ニ於テ角力スルニ付各組長相談ス、口組代堀池、へ組代理植田、其他本人也、相談スル問題、壺戸ニ付金三錢ツ、取徴スルコト、ムシロ五百枚買求及角力飲食ともニ費用取極メスルコト、徴収方ハ本月中持参ノコト

九月廿六日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代山繩及針金買求行事、午后五時帰宅スルコト

九月廿七日 晴天 午前第七時ヨリ総代出勤ス、人足トマアミ（苦編）ス、民秋とも・秋田富三郎式人、次ニ番水質佐兵衛・治三郎渡ス事

九月廿八日 晴天 一藤田<sup>(神)</sup>甚七宅え廿八日午后盜難入、届ケ書差出スコト」

午前第八時頃ヨリ総代出勤シテ、土コネ人足中小路熊次郎・安井与左衛門、手伝家根太午后ヨリ働キ、又鷄冠井村・森本村興行品物取纏メスル様各伍長達シスルコト、又奥海印寺村瓦長庇シ見世品物持参ノコト、午前第拾時頃ヨリ藤吉金式拾円小じま政次郎より取出ニテ渡ス、又午后五時頃ヨリ又五円同人より取出、小じま預り金悉皆返金済候也、同日夜伍長集会スルコト、小野為次郎兵役期明ニ付迎行事ニ相談ス、午后十一時ニ帰宅ス

九月廿九日 土蔵手ウチニテ人足拾人ニテスルコト、午后四時頃ヨリ民秋徳兵衛、築山村より突井戸機械借見候ニ付私者ニテ御借被下度依頼見候、金式拾銭ニテ一日定、借ス事決議ス、又午后七時頃ヨリ各伍長集会スルコト、前夜続キ、小野為次郎満期ニ付村中戸主タル者村界迄迎行事、又其組内ニ於テ現役入営スル者有之候時ハ、其組内中残ス向町ステンシヨ迄送迎スル事ニ決議シテ、午后十一時式拾五分帰宅ス、又各伍長角力金三銭出シテ取纏メテ差出相成候、受取候也、又同日ニテ黒田卯之助妻結婚届ケ差出ス事

九月卅日 晴天 午前第八時頃総代兩人出勤、当月軍人小野為

次郎満期ニテ帰郷ニ付、村中ノ者出迎トシテ島坂マテ行ク者アリ、万善マテ行者モ有、又ハ停車場マテ行ク者アリテ相待居ニ、戸長ヘ達シノ午后三時ニ気車ニ帰郷無之二付、五時ノ気車マテ待居タルニ帰ラスニ付、一先村中ノ者ニ帰郷ヲ命セタリ、午后八時頃小野五郎右衛門、清水市右衛門ノ宅ニ行キ、本日ハ村中ノ人迎ヒニキテクダサルニモ不抱、帰郷不致ニ付、今ヨリ組五長マテ一々御断ニ行クト云ハレ候ヲ、清水市右衛門、先御待被下、断ハ私シヨリ組長ヘ申シ五長マデ君ノ思慮ヲ申述サセ候ト申、同夜組長集合致、右ノ事柄ヲ申、扱明日は他所ハ其々迎ニ行クニ、弊村ニ於テ昨日<sup>(昨)</sup>ボケタト云ヒ迎ヒニ行カザルモ本人ノ身ニ取テ如何ト申ニ、如貴命ノ人間ノ義務トシテ昨日ボケタト云ヒ本日迎ヒニ行カズト申事ハ不成ルニ付、明日総代・各組<sup>(長脱)</sup>ノミ迎ヒ、其町ノミハ五人組ノミ迎フ事ニ決ス、退席ス、時午后一時也

(第20期第9研究会による成果)